

今後の航空安全管理のあり方に関する検討 WG（第3回） 議事概要

日時：令和8年1月14日（水）15:00～16:30

場所：Web開催

議事概要：

＜議事（1）SSP 改正案、NASP 案について＞

（主なご意見）

- 今般の SSP 改正に伴い、国の安全管理体制のさらなる進化を目指していく中で、事業者に求められる SMS も少し変わってくると思っている。その観点で、国際的な動向を見据え、事業者の声も聴きながら、業務提供者がどのように SMS を実施していくべきか、事業者が理解できるよう、SMS に関するガイダンスを作成いただきたい。
- ヒューマンパフォーマンスの考慮について、SSP の記載が精神論にとどまることが無いよう、継続的に検討していくことを要望する。

＜議事（2）航空安全に関する官民連携のあり方について＞

（主なご意見）

- SSP に記載のある航空局の分野毎の部会について、今後の官民連携をどういった形にするか次第では、分野横断的にすることも考えられる。
- 官民連携の在り方については、本邦に適した、実効性のある仕組みとして確立していくことが重要。
- 令和8年度の設置を目指す意味でまだ議論する時間があることから、官民で ICAO 第19附属書に示す国全体での安全インテリジェンスに基づく安全データ分析や未然防止策設定の戦略に関する理解を深め、諸外国の取組状況や今後の発展性も踏まえて、どういった形でスタートするのがよいのか、さらに議論を深めていければと考える。

以上